



2022年4月25日

各位

会社名 株式会社 タムラ製作所  
代表者名 代表取締役社長 浅田 昌弘  
(コード番号 6768 東証プライム)  
問合せ先 取締役常務執行役員  
経営管理本部長 橋口 裕作  
TEL 03-3978-2031

## 2022年3月期通期業績予想の修正ならびに減損損失の計上に関するお知らせ

当社は、2021年11月5日に公表いたしました2022年3月期通期業績予想を下記のとおり修正いたしました。また、2022年3月期第4四半期におきまして、減損損失を計上する見込みとなりましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想と実績値との差異

2022年3月期通期連結業績予想の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 88,000	百万円 2,200	百万円 2,350	百万円 1,100	円 銭 13.39
今回修正予想 (B)	88,000	1,600	1,850	△200	△2.43
増減額 (B-A)	—	△600	△500	△1,300	—
増減率 (%)	—	△27.3	△21.3	—	—
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	73,906	1,969	2,384	542	6.61

#### 2. 修正の理由

2021年11月5日に公表いたしました2022年3月期通期業績予想に対して、利益面で差異が生じております。銅・鉄・錫などの主要な素材価格の上昇について、顧客への価格転嫁を進めているものの、石油化学製品やその他の購入部材などについても値上がりが続き、利益の確保が難しい局面が継続しております。さらに、半導体をはじめとする部材調達の遅れで、年度末に予定していた放送機器の売上が遅延し、自動車関連の顧客では半導体不足や新型コロナウイルス感染症の拡大により減産が行われたことなどから、営業利益は6億円程度減少することが予想されます。また下記3に記載のとおり、当社連結子会社において減損損失約5億円を計上する見込みとなったことから、親会社株主に帰属する当期純利益は13億円程度減少するものとして業績予想を修正いたします。

### 3. 減損損失について

当社の連結子会社であるオプシード・バン格拉ディッシュ・リミテッドは、電子部品関連事業において主にLED製品の生産を行っております。自動販売機向けの商品選択ボタンを主力とするLED製品は、顧客の設備投資抑制継続により、その販売が低迷しておりました。そうした状況を受け、所有する固定資産に対する将来の回収可能性を検討した結果、2022年3月期第4四半期において、減損損失約5億円を特別損失として計上する見込みとなりました。

(注) 業績予想は、本資料作成時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があることをご承知おきください。

以 上